

令和7年8月吉日

各位

日本学校図書館学会
会長 吉富 芳正

令和7年度 第28回 日本学校図書館学会 研究発表大会のご案内

ようやく朝晩と暑さが和らいでまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

令和7年度日本学校図書館学会研究発表大会における研究発表は、対面による実施と同時にオンラインによるライブ配信も行います。ご多用のこととは存じますが、ぜひご参加いただきますようご案内いたします。

記

- 1 日時 令和7年9月20日(土) 9:30~16:15
- 2 主催 日本学校図書館学会
- 3 会場 昭和女子大学1号館7L32教室(世田谷区太子堂1-7)
東急田園都市線三軒茶屋駅 徒歩10分
オンラインZoomウェビナーによるライブ配信も実施
- 4 参加費 学会員は無料・学会員でない方は1,000円



- 5 大会参加方法 「研究発表大会参加者ポリシー」にご賛同いただくとともに、本学会ホームページからリンクを張ったサイト <https://jssls.peatix.com> または、左記のQRコードから、「研究発表大会参加申し込み」フォームに必要事項を入力する。会場にて対面参加希望の方は完全予約制とし定員に達した場合は締め切りとする。オンライン参加希望も申し込みサイトは同じ。参加申込締め切りは大会前日9月19日(金)。同日にZoom番号をメールでお知らせする。対面参加をオンライン参加に切り替える場合の連絡は不要。



- (1) 入力方法: 9/20 研究発表大会 → チケットを申し込む

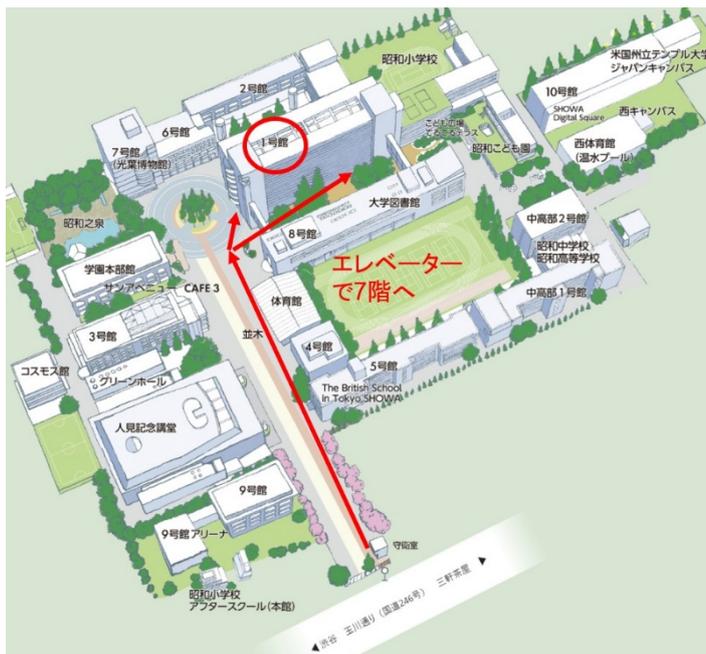
→ チケット選択で、入場券(対面参加)またはオンライン参加を選んで+で参加者数を入力

→ メールアドレスと所属の入力

→ Facebook, Googleユーザーでない方はメールアドレスとパスワードでもログイン可能 → 全角カタカナで実名を入力、表示名はニックネームでなく実名にする → チケットを申し込む

→ チケットの確認方法が iPhone, Android であればそれを、そうでない人は「ブラウザでチケットを表示する」とする → チケット表示でQRコードが表示されれば登録できている
→ メールで登録完了のお知らせが届く

- (2) 対面大会参加方法: 昭和女子大学正門で検温後、会場にて手指消毒と受付。事前にスマホでPeatixにログインして入場用のQRコードを表示するとスムーズに入れる。名簿照会による受付も可能。



- (3) オンライン大会参加方法：大会前に「イベントに参加」としても「無効なミーティング ID」と表示される。大会前日にメールで参加方法に関するお知らせが届く。届いたお知らせの URL を選ぶと自動的にオンライン会議システム Zoom ウェビナーに移動する。あらかじめ Zoom をダウンロードしておくによりスムーズに繋ぐことができる。

6 参加に当たっての留意事項

- (1) 参加申込者は、本学会の会員でなくてもよい。
- (2) 参加者は、会場に対面、または各自のパソコンなどを用いてオンライン会議システム Zoom によって視聴する。
- (3) オンライン会議システムに入るために必要なミーティング ID とパスワードは、大会当日に申込者にメールで知らせる。
- (4) 「研究発表要旨集」は電子版で発行し、本学会のホームページからダウンロードできるようにする。発表書が当日発表用資料を紙で用意した場合は、オンライン参加者には配布しない。データで用意した場合はチャット機能で添付するが、iPad で視聴している場合はダウンロードできない。

7 研究発表大会参加者ポリシー

- (1) 個人情報について
 - 個人情報の収集に当たっては、利用目的を明示した上で必要な範囲の情報を収集し、利用目的を公表し、その範囲内で利用します。
 - ご提供いただいた個人情報は、本学会のプライバシーポリシーに従い管理します。ただし、参加申込者へのサービス向上のため業務を委託する委託先に提供者自身により公開される個人情報については委託先の個人情報保護方針に従うものとし、本学会の管理の対象外とします。
- (2) 著作権について
 - 本大会が提供する情報に関する著作権その他の知的財産権は当学会又は当該情報の提供者に帰属します。
 - 参加者は、本オンライン実験教室が提供する情報を、当学会又は当該情報について権利を有する者の事前の承諾なしに、自ら又は第三者を通じて転載、複製、出版、放送、公衆送信その他知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。
- (3) カメラ、マイク、チャット等について
 - Zoom ウェビナーは通常の Zoom と異なり発表者以外の画像と音声は流れません。
 - 本大会の様子は記録としてビデオ記録を当学会で保持します。会報などで使用する場合はあらかじめご本人の了承を得ます。参観者によるスクリーンショット等の無断チャプター、映像や音声の SNS 等への拡散は禁止とします。
 - チャットは使用可能ですが、書き込む際には実名も記載してください。Q&A も使用可能ですが全てのご質問にお答えできないことがある点、ご了承ください。

8 茶話会について

研究発表大会終了後、短い時間の中ではありますが情報交換及び交流を目的として飲み物（ソフトドリンク）、お菓子程度の茶話会を開催致します。当日、ご参加の皆様（講師、発表者、参加者の希望者）の交流の場としたいと思います。会費は1,000円です。詳細は別途ご参照ください。

開催日：令和7年9月20日(土)
司会：事務局長 栗林 昭彦

令和7年度日本学校図書館学会研究発表大会プログラム

1. 9:30 開会あいさつ

会長 吉富 芳正

2. 9:40 一般研究発表

司会：研究委員 倉見 昇一

No.	時間	発表題目【発表者(所属)】
1	9:50-10:15 オンライン	～小学校の教育課程における「子ども司書」の実践報告～ ～福島県矢祭町の実践を参考に～ 【田中 啓之(北海道恵庭市立若草小学校)】
2	10:25-10:50	保育実践者の記録にみる3歳児の社会性の発達に関する一考察—絵本を媒介とした「かわって」「いやよ」の変容— 【矢野 光恵(安田女子短期大学)】
3	11:00-11:25	アンケート調査に基づく特別支援学校図書館の実態把握の試み：静岡県内の特別支援学校を通じて 【杉本 啓輔(静岡県立裾野高等学校)・鈴木 守(常葉大学)・土井 幸弘(元・常葉大学)】
4	11:35-12:00	全米学校図書館基準に見るコレクション形成のあり方：日本の学校図書館選書における応用可能性 【斎藤 純(専修大学経営学部)】

※ 発表15分+質疑応答10分(一鈴12分、二鈴15分、三鈴25分)

3. 13:25 課題研究発表

司会：研究委員 庭井 史絵

課題趣旨説明

「探究学習を駆動させる学校図書館の役割」

研究委員長 保刈 栄紀

No.	時間	発表題目【発表者(所属)】
4	13:30-13:55	学校図書館を利活用した探究学習は、いわゆる「浮きこぼれ」・「落ちこぼれ」を救えるのか：「誰一人取り残さない教育」の実現における学校図書館の役割の検討を視野において 【吉田 稜(東村山市立東村山第一中学校)】
5	14:05-14:30	図書館活用教育を中心にすえた教育課程の編成～思考力・表現力・語彙力を高めるために～ 【村山 貞則(荒川区立第三日暮里小学校)】
6	14:40-15:05	問いを育て、地域とつながる知の拠点 — 学校図書館が支える産学連携型探究の実践 【伊吹 侑希子(京都先端科学大学附属中学校高等学校)】

※ 発表25分

4. 15:25 総括討論とまとめ

進行：研究委員 庭井 史絵

発表者：東村山市立東村山第一中学校 吉田 稜

荒川区立第三日暮里小学校 村山 貞則

京都先端科学大学附属中学校高等学校 伊吹 侑希子

5. 16:05 学会表彰報告

6. 16:10 閉会あいさつ

副会長 鎌田 和宏

7. 閉会后茶話会